

氏名： 水野 勲
所属： 人間文化創成科学研究科文化科学系
職名： 准教授
学位： 博士（理学）、東京都立大学、1998年
専門分野： 数理地理学、経済地理学
E-mail： mizuno.isao@cc.ocha.ac.jp
URL： [http://info.pr.ocha.ac.jp/staff / Detail.asp?staff=78927827](http://info.pr.ocha.ac.jp/staff/Detail.asp?staff=78927827)

◆研究キーワード / Keywords

集積／地理的モデリング／パネル調査／地図と匿名性／韓国
agglomeration / geographical modeling / panel survey / maps and anonymity / South Korea

◆主要業績

総数（2）件

- ・水野 勲・宮澤 仁・大浦瑞代（2010）:GISによる都市社会地図の作成と防犯・防災等への応用. お茶の水女子大学特別教育研究経費「コミュニケーションシステムの開発によるリスク社会への対応」『CSD平成21年度成果報告集』、104-109.
- ・水野 勲（2009）:「経済地理」のモデリングにおけるクルーグマンとプレッドの差異. 人文地理学会大会研究発表要旨（名古屋大学）、96-97.

◆研究内容 / Research Pursuits

? 近年の主流派経済学と経済地理学との論争を検討し、産業集積の経済地理的モデリングの理論的考察を行い、学会発表した。
? リスクと地理情報研究会の共同研究者とともに、東京23区の震災被害に関する物理的危険度と社会的脆弱性の地域分析の結果を、学会発表した。
? 科学研究費「地図と匿名性に関する地理学研究」の研究会を2度開き、このテーマの諸外国での先行研究の検討を行った。

? I examined the recent debate between mainstream economics and economic geography, made a theoretical consideration on economic geography modeling of industrial agglomeration, and read the paper of the results.
? I made a presentation of the regional analysis in the academic conference, concerning to earthquake's potential disaster structure of physical risk and social vulnerability in Tokyo metropolitan area.
? My collaborators and I started the theme "Geographical exploration of the problems between maps and anonymity" and held the two seminars, in which we have reviewed these study fields in geographic academics worldwide.

◆教育内容 / Educational Pursuits

学部では、地理学の必修科目である都市と自然、地理学フィールドワークA（諏訪）、同B（神田川、江東）を行った。また地理学の専門科目である社会情報処理演習、地域分析学演習、卒論の指導を行った。3名の卒論生の指導を行った。

大学院では、博士前期課程の地域経済論で、ジェイン・ジェイコブズの都市経済論を輪読し、検討した。修士課程4名、博士課程2名の研究指導を行った。

At undergraduate level, I delivered one lectures (Urbanity and Nature), two field trips (Suwa in five days and Kanda River and Koto region in each one day), and two seminars (Social Information Processing and Regional Analysis). I made a guidance for three theses of undergraduate students.

At graduate level, I had one seminar for Jane Jacobs' urban economic and planning theory. I advised four graduate students' theses and two doctoral candidates.

◆研究計画

1. リスクの地域分析と社会調査の接点に関する考察
2. 地図と匿名性の関係の諸問題
3. 経路依存性を考慮した地域発展モデリング

◆メッセージ

ローカルな舞台で起こるさまざまな現象どうしを関連づけて理解し、さらにそれらの関連をより広い文脈の中に位置づけること、そして既存の人文・社会科学の理論を、地図や地域統計の分析を通して、多様性を内部に含んだ理論へと拡張すること、これらが地理学の課題としてあります。理論的な志向と、ユニークな現象への愛着を同時にもつために、私の授業が役立てばいいと思っています。